

令和4年度事業報告書		事業所名	やすらぎの家	作成者	立石 裕子	作成日	R5.3.31	
目標	本年テーマ	(計画) 「やすらぎに来たら元気になる」「今日も楽しかった」と思える日々の提供						
		(評価) 事業所の雰囲気が高く、特に後半は職員・ご利用者様の笑い声が良く聞かれ、楽しい場が提供できたのではないかと思います。						
基本処遇及び運営	■令和4年度処遇及び運営方針に対する評価							
	(計画)① 親しみのある適切な言葉使いで、しっかりコミュニケーションをとる。							
	②改善点を習慣化する。							
	③無理強いする事なく生活動作訓練の幅を広げ、役割等を持つ事で自信が持てる様に支援する。							
	④フォローアップ研修を積極的に受け、専門性を高め事業所全体の資質を向上する。							
	(評価)							
	①時々不適切な言葉使いになる事もあるが、意識できている。継続してご利用者様・職員同士の「距離感」に気を付けていく。②以前に比べ改善点は習慣化出来ている。訪問支援等は、毎回変更する場合もあり、情報共有の漏れが出てしまう事があるので、記録等を通して更に改善していく必要がある。③役割に関しては一部の方に留まっている。							
	④フォローアップ研修は積極的に受け、資質の向上は期待できると思う。その分、ご利用者様と関わる時間が少なくなるので、十分注意していきたい。							
	研修・セミナー	■職員研修計画と実績						
			研修名称	参加実績	研修名称	参加実績		
		岡山県小規模連絡会	年3回×1名～2名	高齢者虐待防止・身体拘束廃止	全員			
		倉敷市小規模連絡会	年2回×1名～2名	感染症対策(2回)	全員			
		フォローアップ研修 ネット配信	去年度に引き続き、「お茶の水フォローアップ研修ネット配信」を利用し、個々の興味ある物、事業所から指定された物等積極的に見ていき、スキルアップを図る。	認知症	全員			
				人権	全員			
				法令順守	全員			
会議・委員会・内部研修	■会議・委員会計画実績・効果							
		会議委員会名	実績・効果	会議委員会名	実績・効果			
		事故予防委員会	4名(毎月)	やすらぎ会議	13名(毎月)			
		給食委員会	1名(毎月)					
		安全衛生委員会	1名(毎月)					
		経費削減委員会	4名(年4回)					
		感染症委員会	3名(毎月)					
		親和会会議	1名(毎月)					

■災害訓練計画・実績					
防災・災害	訓練予定月	実施月	訓練目的	訓練評価	
	R4.6	R4.5	火災訓練	地震発生、津波を想定し訓練を行う	
	R4.11	R4.11	震災訓練	夜間想定火災想定訓練を行う	
■月別行事(下段)・内部研修報告(上段)					
行事・イベント	月度				
	4月	接遇 お花見			
	5月	高齢者虐待防止・身体拘束廃止 節句会・茶話会			
	6月	感染症・食中毒防止 (希望外出)			
	7月	人権 小運動会			
	8月	認知症 夕涼み会:陽だまり行事参加			
	9月	法令遵守 敬老会			
	10月	職員講師による勉強会 陽だまり合同秋祭り			
	11月	感染症対策研修 焼き芋パーティー			
	12月	職員講師による勉強会 クリスマス会			
	1月	職員講師による勉強会 新年会			
	2月	職員講師による勉強会 節分会			
	3月	職員講師による勉強会 雛祭会・茶話会			
	(総評)				
	<ul style="list-style-type: none"> ・行事については今年度もコロナ予防の為、外出行事、陽だまりと合同の秋祭り等は控えたが、それ以外は予定通り実施出来た。 ・8月にコロナ陽性者が出て、施設内療養となった。全介助のご利用者様で感染拡大が懸念されたが、有難いことに拡大しなかった。心身共に非常に大変だったが、良い経験と勉強になり自信もついたと思う。 ・研修については、訪問が多くなり思うように時間が確保できなかったり、予定以外の研修を受けるなどした為、後半の職員講師による勉強会までいかなかった。 ・去年11月より、登録者数を25名から28名に引き上げた。それにより通いの枠が15名から17名になり、断然新規を受け入れやすくなった。有難いことに、収入も安定し予算を上回る事が出来た。 ・今年度は特に生活全般(施設に来ていない時間等)の支援が必要な方や、虐待案件、ご家族がいても後見人が必要な方等、困難事例の方が多くなり、対応が難しくなってきた。小規模はそういった方を積極的に受け入れる施設である事を、職員に自覚してもらおう。受け入れ前はざわついたり、若干の拒否があるものの、ベテランである強みを活かして頂けていると思う。今後もご利用者様には日々安心して穏やかに、そして楽しく過ごせる様に。職員は遣り甲斐を感じモチベーションを上げ、楽しく働く事が出来るようにしていきたい。 ・来年度は、ご利用者様の担当業務の幅を広げていきたい。この度職員の意識づけの為、ご利用者様に渡す名刺を作った。一人ひとり、まずはご自分の担当ご利用者様の声(やってみたい事・行きたいところ、不安な事等)をしっかり聞き、良い意味でひいきしながら支援していきたい。 				